

# ジェイアールバス東北本部

第12号 2019年11月20日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内  
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983  
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

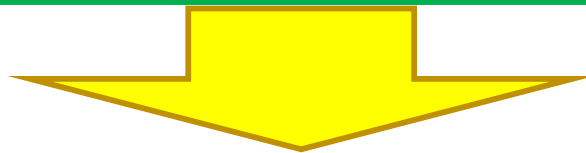
ジェイアールバス東北本部

## 申4号「2019年度年末手当に関する申し入れ」

について趣旨説明を行いました！

### 【組合】

- ・台風被害による列車代行と佐野便の肩代わり運行、また、十和田湖輸送や人員不足のなか、助勤や休日出勤等で精力的に協力している。組合員の労に報いるために満額回答を求める。
- ・会社経営が厳しいのはわかるが、将来を見据えた施策を行わなかった結果であり経営責任である。
- ・今後も会社施策を担っていくのは社員であり、モチベーションを高めていくことが必要である。
- ・生活が苦しいなか、夏季手当・年末手当に頼っている社員も多い。満額回答を求める。
- ・当社の魅力はボーナスである。全社員が期待している。人材流出を防ぐためにも期待に応えるべきある。



### 【会社】

- ・組合の主張は承った。
- ・社員が協力していることは理解している。苦労に報いたいとは思っているが、高速・貸切収入が下がり、上期決算を見ると非常に厳しい経営状況である。
- ・上期決算で一番大きいのは人件費である。夏季手当でプラス8万円出したが、本来は支払える余裕がなかった。休日増による超勤等の人件費が上がっていることも上期決算の足を引っ張っている。幸いにも動力費が下がっているのが救いであり、今後上がるようであればかなり厳しい状況になる。
- ・今回の台風19号の運休等の影響で1,000万円の減収である。
- ・十和田湖輸送の実績はこれからであり、次の為に力を蓄えたい。
- ・今後収入を上げる為に様々な対策を考えていく。また、TDL、成田線に関しては、今は悪くても今後に期待している。
- ・列車代行での収入はあるが、上期決算をひっくり返すほどの力ではなく厳しい状況に変わりはない、理解して頂きたい。

組合員の今までの苦労をねぎらうために  
一丸となって満額回答を勝ち取ろう！！